

\ ところをつなぐ情報誌 /

うきは

2020.11.15

No. 364

掲載記事は11月2日時点で作成しています。新型コロナウイルス感染症による影響で、掲載記事の変更やイベント等が中止・延期となる場合があります。詳しくは市ホームページ、各問い合わせ先で確認してください。

目次

- 3 市役所前国道210号バイパス工事のお知らせ／子育て短期支援事業／ひとり親世帯臨時特別給付金
- 4 令和2年度上半期財政状況
- 6~7 人権について考えよう・人権フェスティバル／市民大学自主運営講座
- 8 子育てと教育をすすめる集い講演会／体罰によらない子育て
- 9 こども向けプログラミング教室 令和3年度学童保育所入所申込
- 10~11 耳納風土記
- 12 「うきは災異史」イベント参加者募集／うきは市ブロック塀撤去費補助金
- 13 農業者年金制度への加入を
- 14 広報うきはアンケート結果報告
- 16 企業版ふるさと納税／県下一斉徴収強化月間
- 17 住まいの相談事業／まちの話題
- 18 くらしの情報
- 20 まちの話題

今月の表紙



五庄屋が築いた南新川で舟下り 「五庄屋の精神に学ぶ会」主催

「五庄屋の精神に学ぶ会」は平成16年に、子どもたちに舟下りを体験させ、五庄屋について語り合う機会をつくったらどうかという意見により、千年校区区長会・分館長会・婦人会・小学校・PTAなどの組織で設立されました。

学ぶ会は、五庄屋たちが残した物的・精神的遺産を伝承して、ふるさとの発展に貢献し、住みよい楽しい地域づくりに努めることを目的に、また、舟下りをとおして五庄屋の恩恵を肌で感じてもらい、郷土に対する誇りと愛着心を育ててもらいたいと、社会科の授業で五庄屋について学んでいる、千年小学校の4年生を対象に、毎年舟下りを実施しています。

児童たちは、舟に乗る前に、「五庄屋の偉業」を学ぶ会の方による紙芝居で学習し、学習が終わると「千年丸」と名付けられた舟で、五庄屋が築いた南新川の福久新川乗り入れ口から、角間天満宮、上宮田橋の1,300メートルの舟下りを体験しました。児童たちは楽しそうに、大きな声で校歌を歌いながら、舟下りを見学にきた保護者などに大きく手を振っていました。